



2021-22 年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ

Weekly Report Niigata



2021～22 年度
新潟ロータリークラブ会長

石橋 正利



新潟 RC 1 月第 4 例会 (2022.1.25) (Zoom 例会併催) No.3398

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」

ピアノ演奏

(2) 石橋 正利会長挨拶

今週は、追悼記念週間です。RI理事会は、1990 年度から、毎年1月27日(ロータリーの創立者ポール・ハリスの命日)をふくむ週を、物故ロータリアンの冥福を祈り、生前の貢献を記念する週間として「追悼記念週間」に設定しました。

この一年を振り返ってみますと、昨年9月23日に樋熊紀雄さん、12月2日に福地利明さん、今年になって1月10日に牧野庄三さんが亡くなりました。改めて、3名の方々の冥福を祈り、生前の貢献を思い出しながら追悼したいと思います。

では、職業奉仕月間の終わりに当たり、新潟県内企業として、初めて日本経営品質賞を受賞された日鉄工材(株)さんを、職業奉仕の視点から、ご紹介いたします。「社員の幸せを起点として、人間力を発揮して、お客様に新しい価値を提供する活動に取り組むことで、お客様の喜びや地域社会への貢献を実感すると社員の目の色が変わった」と経営幹部の方が語っている映像をご覧ください。

いかがだったでしょうか。2012 年度に大赤字に落ち込んだ時は、その要因として、①責任転嫁②無為無策③価格はお客の言いなり④自社製品の長所をアピールできない⑤中身のない中期・年度経営計画⑥品質管理のレベルが低いと言った、成り行き任せで座礁した難破船のような状態だったそうです。それが、2020 年には、売上高は、2.4 倍になり、経常利益率は、21%を超える超優良企業になりました。

売上・利益とは、提供している製品が生み出す価値が、

お客様に受け入れられた結果なのです。もちろん、価値を提供する製品を製造するのは、社内顧客の社員です。社外顧客のお客様の喜びや地域社会への貢献を実感することで、仕事へのやりがいを感じ、さらに技術を向上させたい、改善活動へ前向きに取り組みたいという熱い思いが湧いてきたのです。

このことは、ロータリークラブの職業奉仕の「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の法則の実証例だと思います。

それでは、(株)エスクロー・エージェンツ・ジャパン創業者の本間英明さんの卓話をお聞き頂きます。新潟市で、土地家屋調査士事務所からスタートし、不動産取引に係る士業専門家による「ワンストップ専門サービスを提供する」総合事務所として一部上場企業にまでなっています。職業奉仕の視点からも、創業者としての成功体験を参考にして頂けるのではないのでしょうか。

(3) ビジターの紹介

- ・鈴木 隆君 (岩槻 RC Zoom によるメイクアップ)
- ・渡辺 邦夫君 (新潟万代 RC)

(4) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(東海 幸一委員)

宮島多佳子君 敦井 栄一君

青少年育成基金寄付発表(小飯田 澄雄委員長)

本間 彊君

(5) ニコニコボックス紹介

・石橋 正利君 本日は (株)エスクロー・エージェンツ・ジャパン、本間会長 卓話にお越しいただきありがとうございます。

・小飯田 澄雄君 本日の卓話に(株)エスクロー・エージェンツ・ジャパンの本間会長をおむかえし、久しぶりに会いニコニコです。

・石本隆太郎君 父も祖父も果たせなかった長寿祝をいただき感無量です。

・敦井 晴香さん(敦井 栄一君お孫さん) 成人お祝いをありがとうございました。

(6) 幹事報告(内山 博之)

・2月8日までは、ご案内通り、12時開会・お弁当お持ち帰り・ZOOM 例会併催ですが、15日以降は、1日理事会で最終決定します。よろしく願いいたします。

(7) 卓話「私の履歴書 ～職業奉仕の理念～」

(株)エスクロー・エージェンツ・ジャパン

代表取締役会長 本間 英明氏



(8) 1月25日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
88	85	71	83.53

Zoom 参加 25名

2月1日の例会予定

開会 12時

第一例会につき卓話はございません。

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

「コラム」

日本のロータリーから「奉仕」という言葉を消せ!!

小山楯夫

少々過激に聞こえるかもしれないが、「奉仕」この言葉がロータリーの理念、ひいては活動などを複雑化させ、難解な団体にしてしまったと思う。

クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕等々。そもそも、奉仕とは?? 国語辞典によれば、1.神仏・主君・師などにつつしんでつかえること。「神に一する」2.利害を離れて国家や社会などの為尽くすこと。「社会に一奉仕する」3.商人が安い値段で品物を売ること「特価で御一しております」「一品」。たった三つの定義しか載っていない。これらの言葉とロータリーの理念、理想、活動を、上記の奉仕部門とどう結び付けて説明すれば容易に理解できるのだろうか。不可能としか思えない。

ロータリーの原文は全て英語で書かれている。R.Iでは「翻訳で意味不明の場合は原文に戻りなさい」と注釈をいれている。米山梅吉(東京 RC 創立者)は、service を訳す適当な日本語が無いとガバナー月信で service を全て「サービス」と記した。

英語の service は、大変多くの意味を含んでおり、前後の文脈から日本語を選ばなければならない。secret service、service station、service man テニスの service 等々。これらを奉仕と訳せるだろうか?? 因みに中国語圏のロータリーでは「役務」と訳している。確かにこの方が解かり易い。元々、ロータリーの出発はシカゴ暗黒の時代に詐欺まがいの商売が横行し、一獲千金を掴もうとする時代に、職業倫理・道徳を高揚しようとした同志が集って発展してきた職業人の団体であった筈である。其々会員が職務・業務・任務・責務を四つのテストに照らし合わせて実践することを奨励してきている筈である。

Service は有料であり、奉仕は無料か採算度外視である。プロフェッショナルから service を受けるにはその service に対価を払い、プロフェッショナル側は良質の service「責務・役務」を提供しなければならない。これが、シェルドンの唱える「He profits most who serves best his fellows = 最もよく奉仕する者は最も多く報いられる」である。profit は = 金銭的利益であり精神的なものではない。